

第1回 天神川圏域県管理河川の減災対策協議会 議事概要

- 1 日時：平成29年5月17日(水) 14時45分～15時40分
- 2 会場：国土交通省中国地方整備局倉吉河川国道事務所 3階会議室
- 3 出席者

(委員)

倉吉市長 石田 耕太郎

三朝町長 吉田 秀光

湯梨浜町長 宮脇 正道

琴浦町長 山下 一郎

北栄町長 松本 昭夫

鳥取中部ふるさと広域連合 消防局長 芦崎 理千

気象庁 鳥取地方気象台長 真木 敏郎

国土交通省中国地方整備局 倉吉河川国道事務所長 神宮 祥司

鳥取県 危機管理局長(代理) 副局長 國米 洋一

鳥取県 県土整備部長 山口 真司

鳥取県 中部総合事務所県土整備局長 竹森 達夫

(オブザーバー)

国土交通省 中国地方整備局 河川部

4 議題

- (1) 設立趣旨、規約(案)の確認
- (2) 水防災意識社会再構築ビジョンの県管理河川への展開
- (3) 県管理河川における現状の水害リスク情報と取組状況
- (4) 「水害に対する警戒・避難情報のあり方検討会」で抽出した課題について
- (5) 減災のための目標と取組(案)及び今後の進め方について

5 議事概要

- 設立趣旨、規約(案)について承認。
- 減災のための目標及び今後の進め方について承認。
- 来年度のフォローアップからは国、県の協議会を共催で行うなど、流域及び圏域での連携・整合を図るよう調整する。

(主な意見)

- 県の福祉部局、危機管理局も一緒になって、水害をはじめとした防災・減災対策に取り組んでいく。
- 支え愛マップづくりについて、部局間で縦割りにならないように進めていくとともに、福祉部局が今まで積み重ねてきたものを大事にして進めていきたい。
- 水位観測箇所、避難判断水位などが設定されてないところが結構あるので、設定していただけるとありがたい。
- 河川の氾濫だけでなく、土砂災害の危険性など、トータルな形での危機の意識を持たないといけない。また、災害はいつでもやってくるという意識のもと、住民の命を最優先に考えるべきである。避難勧告等は空振りを恐れないという方針でいきたい。
- 協議会をつくり、取組方針を決めれば終わりではなく、避難判断を助ける人材づくり、避難につながる意識の醸成や環境づくりが大きな目標と考える。
- このような場で情報共有、意見交換をしたり、できることはどんどんやっていくということが大切である。
- 避難勧告等の発令について、一つ早い段階の水位で動いていくことはとてもいいことだと思う。
- ダム操作について、減災につながるような弾力的運用をお願いしたい。
- 県の水防訓練は3河川で持ち回りでやっているが、それ以外の年も中部だけで水防訓練を行うので、協力をお願いする。